

歴史文化の特徴と関連文化財群のイメージ

歴史文化の特徴1 古代『邇波』地域の古墳群

木曾川がもたらした肥沃な大地は、水陸の交通の要所として古くから栄え、縄文時代・弥生時代から人々の暮らしが営まれてきました。古墳時代になると、市内には国史跡の東之宮古墳、青塚古墳等の大型古墳をはじめとして、数多くの古墳が築造されました。

また、6世紀から7世紀にかけて東部丘陵に入鹿池古墳群が築造されましたが、その地名や立地条件から一帯は『日本書紀』に記載されるヤマト王権直轄地「入鹿の屯倉」の推定地とされ、犬山及びその周辺は『続日本後紀』などに記載される「邇波県（にわのあがた）」の存在と密接に関係する古代『邇波』地域であると推定できます。『邇波』地域の古墳は、現在も市内の各所に残されています。

歴史文化の特徴2 戦国の動乱を今に伝える城跡・古戦場

応仁の乱後の美濃国守護代斎藤妙椿による尾張地域攻略に備えて、文明元年(1469)に「美濃に対する備えの城」として、織田広近により木ノ下城が築かれました。その後、天文6年(1537)に織田信康が本城を木ノ下城から城山に移し、犬山城が築城されました。

一方、楽田では、永正年間(1504～1521)に織田久長によって楽田城が築かれ、羽黒には、鎌倉時代の建仁年間(1201～1204)に築城されたと伝わる羽黒城がありました。

犬山城、羽黒城、楽田城は、天正12年の小牧・長久手の戦いの際に、秀吉方の陣として利用されました。その他にも、小牧・長久手の戦いの前哨戦となった「羽黒合戦」が行われた八幡林や青塚古墳を利用した青塚砦など、戦国期の動乱を物語る城跡や古戦場が随所に残っています。

歴史文化の特徴3 犬山城と城下町

犬山城は、東西を結ぶ要衝に位置することから軍事上・経済上の重要性が高く、その歴史は尾張支配者の交代と密接に関連していました。やがて、犬山城主には尾張国主の最も信頼する人物が置かれるようになり、尾張第二の城下町へと発展する素地が作られました。

犬山城下町は、小笠原吉次や平岩親吉の頃までにその基本となる形が整えられ、成瀬氏入部後、街道の付替えにより、今日に至る本町通を主軸とする「タテ町型城下町」が完成しました。城下町では、酒造や茶の湯などの様々な文化が花開き、犬山焼や葱苺酒などは、伝統産業として現在も受け継がれています。また、針綱神社の例祭として寛永12年(1635)に始められた犬山祭は、今日まで380余年にわたり続けられています。

関連文化財群イメージ(1) 木曾川扇状地に作られた古墳

古代『邇波』地域には、多くの古墳がつけられました。3世紀後葉～5世紀にかけて犬山を中心に大型古墳が築造され、木曾川(犬山)扇状地に地域的・地縁的關係を基軸とする部族社会が誕生しました。5世紀に大型古墳の造営は終焉を迎えて以降、小規模の古墳が築造されることとなり、6～7世紀にかけて犬山全域に多くの古墳群が築造されました。

主な歴史文化資源

- ・東之宮古墳 ・青塚古墳 ・妙感寺古墳 ・白山神社古墳 ・天道塚古墳
- ・青塚古墳群 ・内田・丸山古墳群 ・上野古墳群 ・入鹿池古墳群 ・蓮池古墳群 など

関連文化財群イメージ(2) 戦国武将が残した群雄割拠の痕跡

戦国時代には尾張出身の武将たちが数多く活躍し、今も語り継がれる様々な歴史をつくってきました。犬山市には、戦国期の動乱を物語る城跡や古戦場が随所に残されています。

主な歴史文化資源

- ・犬山城 ・木ノ下城跡 ・徳授寺 ・羽黒城跡 ・興禅寺 ・楽田城跡 ・常福寺
- ・八幡林の古戦場 ・青塚砦 ・物狂峠 ・野呂塚 ・内久保砦 など

関連文化財群イメージ(3) 犬山城下町の発展

木曾川を背にした地理的・軍事的要衝の犬山城を中心に、尾張第2の城下町へと発展した犬山城下町は、成瀬氏支配を通じて名古屋御城下、熱田奉行支配の熱田、岐阜奉行支配の岐阜と並んで町地としての地位を有するまでに発展しました。現在も残る町割りや歴史ある建造物、そこで繰り上げられる犬山祭などに往時の面影を見ることができます。

主な歴史文化資源

- ・犬山城 ・犬山城城下町(総構え) ・犬山祭 ・車山(十三台) ・車山蔵
- ・針綱神社 ・御旅所 ・旧磯部家住宅 ・堀部家住宅 ・その他町屋・住宅
- ・如庵 ・高木家茶室 ・大島家茶室 など

関連文化財群イメージ(4) 風土に育まれた伝統産業

伝統産業の数々は、木曾川や丘陵地等の恵まれた地勢や成瀬氏による庇護のもと生まれ、その技術は現在に至るまで引き継がれています。

主な歴史文化資源

- ・犬山焼 ・尾関作十郎陶房 ・大澤久次郎陶苑 ・後藤陶逸陶苑 ・今井焼
- ・丸山古窯群 ・刀剣 ・「鍛冶屋町」等(地名) ・葱苺酒 ・小島家住宅 など

歴史文化の特徴4 流通・交通の要衝地

木曾川沿いに位置する犬山は、木曾川を下る材木の中継、あるいは荷物の発着など、湊としての機能を有し、木曾川の水運による恩恵を受けてきました。通船も多く、元禄3年(1690)頃には、年一万艘にも上る往来が記録されるなど、物流の要衝地としての役割を果たしてきました。

江戸時代に入ると、幕府は江戸から地方へと延びた幹線街道である五街道と、その支線にあたる付属街道を造成整備しました。犬山市域でも木曾街道、犬山街道などが整備され、尾張藩家中や商人の往来を支えました。

木曾川と街道は数多くの人と物を繋ぎ、現在も、路傍に佇む石仏や一里塚、渡船場跡や宿場跡の常夜燈などが、道行く人々を見守っています。

大正元年には、岩倉-犬山間の鉄道が開通し、犬山駅はその後、3路線が交わるターミナル駅として発展しました。

歴史文化の特徴5 治水と利水

木曾川は地域に豊かな恵みをもたらす一方、洪水により飢饉や凶作が発生し、民衆を苦しめる要因ともなっていました。慶長13年から翌年にかけて徳川家康が実施した木曾川治水上最大規模の築堤工事(御囲堤)により、洪水の危険性は減少しましたが、濃尾平野に流れ込む大小の河川が締め切られたため、水源確保のため宮田用水、木津用水などの用水路が整備されました。

寛永10年(1633)には入鹿池が築造され、安定的な水の供給により、新田開発など地域の発展に大きく貢献しました。ところが、明治元年(1868)5月、連日の大雨によって池の堤が決壊し、丹羽郡の広範囲が浸水して多数の死傷者を出す大災害となりました(入鹿切れ)。

このように、犬山の歴史は水と深い関わりがあり、市内には、用水路やため池などの治水、利水に関わる施設が多く残されています。また、水に対する感謝と畏敬の念を忘れないよう、木曾川や入鹿池をはじめとした水にまつわる伝承や物語が数多く伝えられています。

歴史文化の特徴6 市内各地に伝わる多様な伝統行事

犬山市には、380余年の伝統を誇る犬山祭、尾張富士と本宮山の背比べ伝説が伝わる石上げ祭、大縣神社(姫之宮)の豊年祭など、市内外から多くの観光客を集める祭りがあります。一方で、市内の各地域に目を向けると、五穀豊穡を祈願する虫送りや疫病除けの祭事であるダンダンモウセ、各神社に伝わる祭礼など、個性豊かな伝統行事が数多く行われています。

これら伝統行事は、人々の祈りや込められた思いを今に伝え、関連する文化財とともに地域の人たちによって大切に受け継がれています。

歴史文化の特徴7 全国に先駆けた文化財の観光活用

「犬山町」では、明治末期から観光客を対象とした遊興地・旅館などが増加し、大正期における鉄道敷設により観光開発が進みました。加えて、昭和2年(1927)に木曾川が日本八景に当選したことで観光客が増加、観光業のさらなる発展につながりました。

昭和29年(1954)には、市政施行にともない「犬山市観光協会」が発足し、地域資源観光事業の推進が図られたことで、市全体として観光都市の歴史を歩みはじめました。市内に所在する名勝木曾川や国宝犬山城天守をはじめ、木曾川鶴飼、日本モンキーセンター、明治村、国宝如庵などの豊富な文化財は、古くから観光資源として活用され、観光地としての発展に大きく寄与してきました。

関連文化財群イメージ(5) 水と道が繋いだ交通

犬山は、古くから物を運搬する流通の要衝地として、また、人が移動する交通の要衝地として重要な役割を果たしてきました。

近代以降も鉄道の主要駅となり、鉄道の発展に関する歴史文化遺産も残されています。

主な歴史文化資源

- ・木曾川 ・栗栖の渡し ・内田の渡し ・鶴飼町の渡し ・内田渡常夜燈 ・鶴飼渡常夜燈
- ・木曾街道 ・稲置街道(犬山街道) ・巡見海道 ・織田街道 一里塚(五里塚)
- ・善師野宿 ・禅徳寺 ・磐座 ・石拾い峠 ・楽田追分 ・木曾街道の石仏像
- ・善師野「伏屋」(地名) ・岡田式渡船 ・たぐり舟 ・犬山橋 ・モノレール跡 など

関連文化財群イメージ(6) 水とともに生きる

近世の初頭、尾張藩は、木曾川の治水とともに水利の確保を図り、耕地の拡張に力を注いできました。入鹿池の築造によって地域が発展した一方、忘れてはならない惨事が引き起こされました。

主な歴史文化資源

- ・木曾川 ・宮田用水 ・木津用水 ・新木津用水 ・郷瀬川 ・新郷瀬川 ・五条川
- ・入鹿池 ・入鹿切れ ・入鹿切れ流石 ・入鹿洪水溺死群霊塔 など

関連文化財群イメージ(7) 語り継がれる知恵や教訓

犬山には、数々の伝承や物語が残されています。その中には、木曾川をはじめとした川の氾濫や入鹿池にまつわる伝承など、後世に伝えるべきものが多くあります。

主な歴史文化資源

- ・やろか水(物語) ・吉野神社 ・木曾川 ・お富岩(物語) ・お富岩
- ・入鹿切れ(物語) ・入鹿池 ・入鹿切れ流石 ・入鹿洪水溺死群霊塔
- ・田中天神の森(物語) ・金明水・銀名水(物語) ・青龍山記(物語) など

関連文化財群イメージ(8) 今も紡がれる人々の祈り

犬山には伝承・物語にまつわる行事や、五穀豊穡を祈る行事など、数多くの民俗行事等が守り伝えられています。

主な歴史文化資源

- ・虫送り(蝗除祭) ・ダンダンモウセ ・石上祭 ・火振り神事 ・尾張富士
- ・尾張富士大宮浅間神社 ・鬼まつり ・天道宮神明社 ・豊年祭(大縣神社)
- ・内田の巻き藁船 など

関連文化財群イメージ(9) 観光都市犬山の成り立ち

「犬山町」は、古くから尾北地方における物資の集散地として尾北一帯を始めとし、人や物を繋いできました。大正期に観光開発が進んだことを皮切りに、犬山市は観光都市として発展しました。観光産業を支える豊富な歴史文化資源は多くの人を魅了しています。

主な歴史文化資源

- ・犬山城 ・日本ライン(木曾川) ・木曾川鶴飼 ・桃太郎神社 ・不老の滝 ・吉田初三郎
- ・明治村 ・入鹿池 ・モンキーセンター ・若い太陽の塔 ・リトルワールド ・如庵 など